

授 業 科 目 名	単位数	3年1学期 5セメ開講	資源環境経済学系 においては必修科目	開講年度
公共経済学	2			毎年開講
担 当 教 員	木谷忍准教授			
授 業 テ ー マ	公共財のもつ経済外部性、ピグー税・補助金、リンダール税のしくみ、および現代平等論と分配的正義			
授 業 の 目 的 と 概 要	自由な社会で各人が個人合理的な意思決定する限り、公共財の供給は過少となることが「理論的」に知られている（サミュエルソン 1954）。ただしここでは、自分だけに関心を持ち、自分だけの幸せを追求する、狭隘な自由経済人によるマイクロモデルが想定される。公共経済学では、公共財の過少供給を解決すべく課税や補助金といった間接的再分配のしくみの正当化を試みようとする。この授業ではその試みの批判的検討を行う。数理的手法の使用は避けるよう努力するが、教養数学程度の知識は必要。			
キ ー ワ ー ド	公共財、ピグー税、リンダール税、分配的正義			
達 成 目 標	公共経済学で扱われるマイクロモデルの理解、間接的再分配の背景にある正当化の論理、倫理的観点からの直接再分配の必要性の理解			
各 回 の 授 業 内 容	第1回：オリエンテーション、公共経済学と税制度 第2回：合理的個人モデル、一般均衡モデル、パレート最適 第3回：無差別曲線、外部経済・外部不経済の例示 第4回：外部不経済のダイアグラムによる解析 第5回：外部不経済におけるパレート最適条件の数学的導出 第6回：外部性の内部化方策について 第7回：コースの理論、ピグー税・ピグー補助金 第8回：汚染権取引、事例紹介 第9回：公共財の定義、市場の失敗 第10回：非ゼロ和ゲームモデルについて、オルソン問題 第11回：囚人のジレンマ、チキンゲーム、市場の失敗 第12回：共有地の悲劇、公共財供給におけるサミュエルソン条件 第13回：公共財のパレート最適供給のための数学的条件 第14回：リンダールの方法 第15回：ロールズに端を発する現代平等論と直接再分配			
成 績 評 価 方 法	高頻度のレポート、および期末試験による。授業態度も重視する。			
準 備 学 習 等	経済数学とオペレーションズリサーチ、および理論経済学の履修を前提とする。			
教科書または参考書 （ 文 献 ）	公共経済学（柴田弘文他、東洋経済新報社） 公共選択（加藤寛監訳、有斐閣）			
備 考	(1)質問等があれば、随時、環境経済学研究室にて受け付ける。 (2)URL http://www.agri.tohoku.ac.jp/agriecon/japanese/kankyo/kitani/index.htm			